

津市の認定こども園の整備方針について

平成28年2月19日

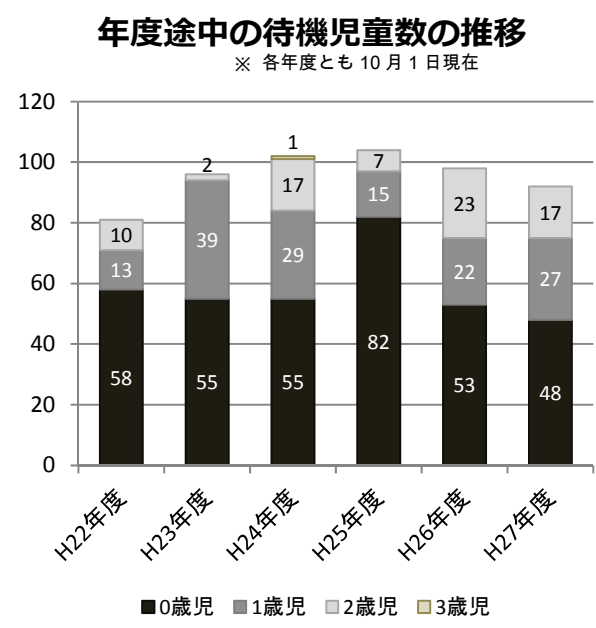
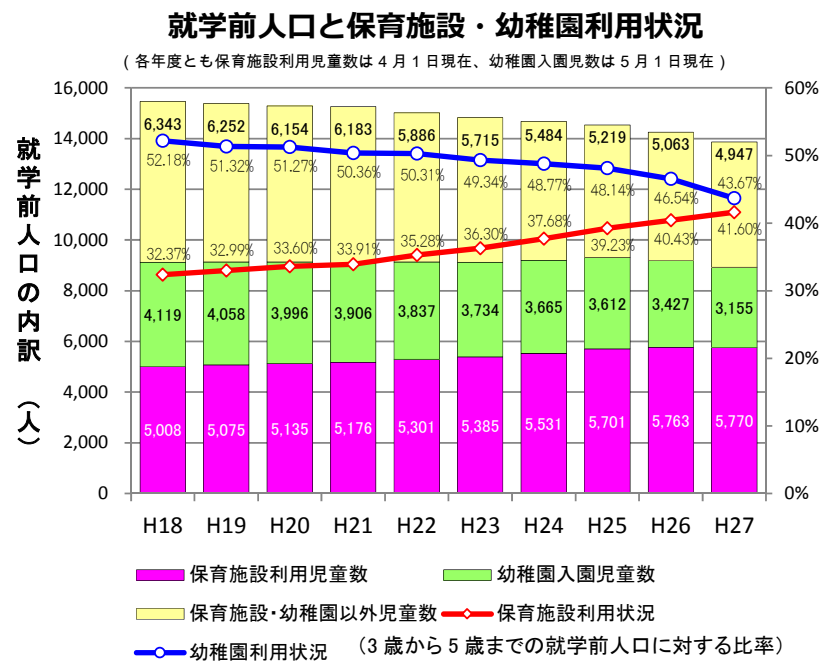
津市健康福祉部 子育て推進課



津市における就学前教育・保育の課題とこれまでの取組について

課題

- 年々高まりを増している子育て家庭の保育所利用ニーズ
 - ↳核家族化の進行、共働き世帯の増加、就労形態の多様化等
- 待機児童の発生
 - ↳年度当初はゼロを維持しているものの、平成22年度以降、年度途中で発生
- 公立幼稚園の利用者数の減少
 - ↳入園率が低下し、適正集団規模の維持が困難となる園も発生



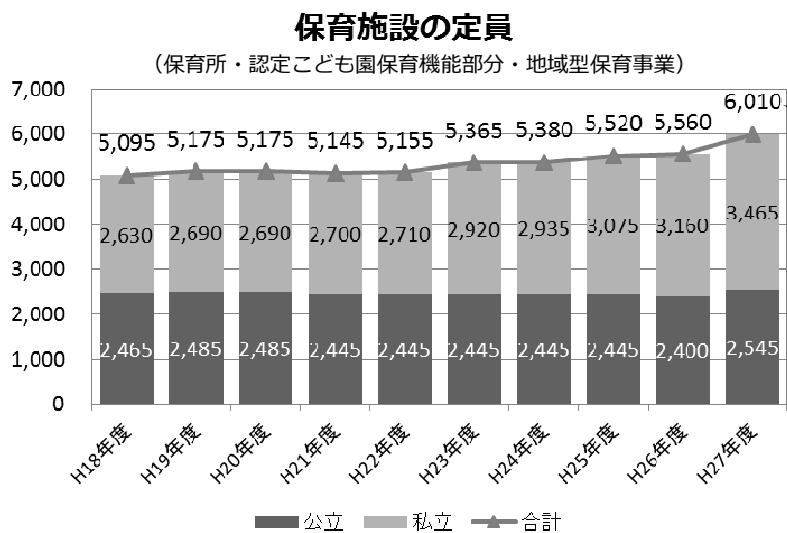
取組

保育：平成18年度から平成27年度までの、私立保育所を中心とした保育提供量の拡充の取組

- ①私立保育所の施設整備を支援・・・新設：5か所（387人分）、増改築：6か所（155人分）、計：11か所（542人分）
- ②既存施設の有効活用・・・私立保育所：7か所（延べ85人分）、公立保育所：2か所（20人分）、計：9か所（105人分）
- ③私立幼稚園の認定こども園への移行支援（平成27年度）・・・1か所（保育認定部分125人分）
- ④地域型保育事業の新規認可（平成27年度）・・・事業所内保育所1か所（地域枠12人分、従業員枠38人分）
- ⑤利用定員の設定（平成27年度）・・・私立保育所：9か所（141人分）、公立保育所：12か所（255人分）、計：21か所（396人分）

合計
22か所
(784人分)
※従業員枠分除く

幼児教育：私立幼稚園での特色ある幼児教育の推進と預かり保育、未就園児クラスの運営などのサービス向上



幼稚園の状況

平成27年5月1日現在

	施設数	定員 (人)	入園児数 (人)				入園率 (%)
			3歳児	4歳児	5歳児	計	
公立幼稚園	38	2,995	376	607	632	1,615	53.9
	(1)	(140)	(20)	(58)	(56)	(134)	(95.7)
私立幼稚園	9	1,950	487	469	450	1,406	72.1
計	48	5,085	883	1,134	1,138	3,155	62.0

※ 公立幼稚園の（ ）内は国立の状況で外数。計には国立を含む。

平成27年度の定員は制度改正に伴う見直しによる増加分（396人）を含む

「定員」に係る制度の改正
 平成26年度までは保育所等の認可定員を基準として子どもを受け入れていましたが、平成27年度の制度改正により、認可定員の範囲内で新たに利用定員を定め、子どもを受け入れることとなりました。
 そのため、この図表の定員数は、平成26年度までを認可定員、平成27年度は利用定員により表しています。

今後の課題と幼児教育・保育の提供体制のあり方について

課 題

① 保育提供量の拡充

⇒ 私立保育所の負担増が伴うこれまでの方策では定員拡充は困難

② 公立幼稚園の運営改善

⇒ 幼児教育に求められる遊びを通じた学びの確保するため、年齢・発達段階に応じた適正な集団規模形成が必要

③ 施設更新

⇒ 築30年以上経過するなど老朽化が進行している公立保育所・幼稚園の計画的な施設更新が必要

幼稚園・保育所の建物経年状況

(施設数)

※ 平成28年3月時点

建築構造	区分	10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上 40年未満	40年以上	計
RC造	保育所	1	1	2	1	10	15
	幼稚園	1	1	8	5	4	19
鉄骨造	保育所	-	3	1	2	4	10
	幼稚園	-	4	4	9	1	18
合計		2	9	15	17	19	62

提供体制のあり方

① 0歳児から2歳児への保育提供量の確保

- ・ 待機児童を生まないために、その大部分を構成する0歳児から2歳児の保育提供量を拡充する必要がある
 - ・ これまで私立保育所が中心となって取り組まれてきた0歳児から2歳児の保育提供量の拡充策は、少子化が進行する中、さらなる負担増を伴う
 - ・ 今後、私立幼稚園が認定こども園へ移行することが想定される
- ⇒ 公立の保育所・幼稚園がこれまで以上に保育提供量の確保の役割を担う必要がある

3号認定子ども（0歳児）

【全市】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
① 量の見込み	629	619	608	602	590
② 確保の方策	525	568	608	608	608
②-①	▲ 104	▲ 51	0	6	18

3号認定子ども（1-2歳児）

【全市】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
① 量の見込み	2,124	2,106	2,087	2,052	2,023
② 確保の方策	1,913	2,006	2,087	2,087	2,087
②-①	▲ 211	▲ 100	0	35	64

② 3歳から5歳児への教育提供体制の見直し

- ・ 公的な幼児教育を希望する地域のニーズへの対応も引き続き必要
- ・ 保育提供が必要な子どもと合わせた集団形成により適正規模を確保

③ 民間施設と相互に築く信頼関係に立脚した施策の推進

民間施設の動向や経営に及ぼす影響に留意しつつ、私立の保育所、幼稚園、認定こども園及び地域型保育事業との信頼関係に立脚した施策に取り組む

④ 保護者の多様なニーズへの対応

保護者の希望や就業形態などそれぞれの生活スタイルによる多様なニーズに対応し、0歳から5歳児までの質の高い幼児教育と柔軟で多様な保育を同時に提供

⑤ 認定こども園整備計画

津市子ども・子育て支援事業計画（平成27年3月策定）においては、5か所の公立幼保連携型認定こども園の整備方針を記載

公立の保育所と幼稚園の一体化による幼保連携型認定こども園を整備

公立幼保連携型認定こども園の整備による効果

① 待機児童の解消、保育提供の円滑化

待機児童の解消、定員を超過した保育環境の改善及び保育施設利用の円滑化を図ります。

② 就学前教育・保育の提供環境の改善

- ・ 保育士（保育所）、幼稚園教諭（幼稚園）による質の高い教育・保育の提供が実現します。
- ・ 保育士と幼稚園教諭の人材を有効に活用できます。
- ・ 保育提供が必要な保育認定子ども、教育を希望する教育認定子どもに一体的な教育・保育の提供体制を整えることができます。
- ・ 施設更新により保育環境の改善を図ります。

③ 子育て支援の充実

- ・ 地域の子育てを支援し充実を図ります。
- ・ 保護者の就労形態の変化に対応して同一施設で教育・保育を提供することができます。

④ 公共施設の運営・管理の効率化

老朽化した保育所と幼稚園を一体的に更新することで効率的な施設運営・管理が可能となります。

公立の幼保連携型認定こども園の整備計画

本市には、幼保一体化のコンセプトを十分に生かした施設が、現在3か所（香良洲浜っ子幼児園、高岡幼稚園・高野保育園、白山乳幼児教育センター）あるため、その事例を生かしながら、民間施設との両立を基本に、質の高い幼児教育や保育時間の選択など、保護者の多様なニーズに対応できる幼保連携型認定こども園の整備に取り組みます。

① 津地区 （仮称）津こども園

・ 概要

津市立神戸幼稚園、津市立新町幼稚園、津市立修成幼稚園及び津市新町保育園を一つにして幼保連携型認定こども園を整備します。（津市立神戸幼稚園園舎を増築・改修し、一体的施設のもとで0～5歳児に教育・保育を提供する）

- ・ 定員規模 225人
- ・ 整備時期 建築：平成29年度 開所：平成30年4月

	利用定員			計
	保育認定		教育認定	
	3号認定	2号認定	1号認定	
0歳児	12	－	－	12
1歳児	15	－	－	15
2歳児	18	－	－	18
3歳児	－	20	40	60
4歳児	－	20	40	60
5歳児	－	20	40	60
計	45	60	120	225
現行	31	54	240	325

② 芸濃地区 （仮称）芸濃こども園

・ 概要

津市立芸濃小学校、津市立芸濃中学校、芸濃総合文化センターが集積する当地に、津市立椋本幼稚園、津市立安西・雲林院幼稚園及び津市芸濃保育園を一つにして幼保連携型認定こども園を整備します。

- ・ 定員規模 240人
- ・ 整備時期 建築：平成31年度 開所：平成32年4月

	利用定員			計
	保育認定		教育認定	
	3号認定	2号認定	1号認定	
0歳児	12	－	－	12
1歳児	20	－	－	20
2歳児	28	－	－	28
3歳児	－	30	30	60
4歳児	－	30	30	60
5歳児	－	30	30	60
計	60	90	90	240
現行	51	79	150	280

③ 一志地区 (仮称) 一志こども園

・概要

隣接する津市立高岡幼稚園及び津市高野保育園を一体化して幼保連携型認定こども園を整備します。

・定員規模 245人

・整備時期 改修：平成30年度 開所：平成31年4月

	利用定員			計
	保育認定		教育認定	
	3号認定	2号認定	1号認定	
0歳児	12	-	-	12
1歳児	25	-	-	25
2歳児	28	-	-	28
3歳児	-	30	30	60
4歳児	-	30	30	60
5歳児	-	30	30	60
計	65	90	90	245
現行	53	87	100	240

④ 香良洲地区 香良洲浜っ子幼児園 (現行どおり)

・概要

合築施設の中で運営されている津市立香良洲幼稚園及び津市香良洲保育園を一体化して幼保連携型認定こども園とします。

・定員規模 192人

・整備時期 開所：平成30年4月

	利用定員			計
	保育認定		教育認定	
	3号認定	2号認定	1号認定	
0歳児	9	-	-	9
1歳児	15	-	-	15
2歳児	18	-	-	18
3歳児	-	20	30	50
4歳児	-	20	30	50
5歳児	-	20	30	50
計	42	60	90	192
現行	35	60	130	225

⑤ 白山地区 (仮称) 白山こども園

・概要

合築施設の中で運営されている津市立白山幼稚園及び津市白山保育園を一体化して幼保連携型認定こども園とします。

・定員規模 260人

・整備時期 開所：平成30年4月

	利用定員			計
	保育認定		教育認定	
	3号認定	2号認定	1号認定	
0歳児	12	-	-	12
1歳児	20	-	-	20
2歳児	28	-	-	28
3歳児	-	30	30	60
4歳児	-	35	35	70
5歳児	-	35	35	70
計	60	100	100	260
現行	56	114	160	330

認定こども園整備に伴う周辺の整備構想

① 新町会館の新築整備（新町幼稚園跡地の活用）

② 橋南公民館の移転整備（修成幼稚園舎の大規模改修）

※ 認定こども園、新会館、公民館の整備後は、新町保育園、新町会館、橋南公民館は売却して、それぞれの整備事業費財源の一部として確保します。

認定こども園整備に向けてのこれからの対応

平成28年度においては、該当地域の住民、保護者、関係団体等に整備による効果やメリットが十分に理解されるよう説明し、ご意見をいただきながら、認定こども園の整備を推進していきます。